

採択基準	基本観点	発行者		
		2 東書	4 大日本	11 学図
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	各章に数学的活動に対応した問題を設定している。「学びをいかに」で、思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。	各章に「利用」の節を設定している。「挑戦しよう」「見いだそう」「利用しよう」「伝えよう」に分けて数学的活動に対応した問題を設定し、思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。	各章末に「深めよう」を設定している。「見つける」「活用する」「伝える」に分けて数学的活動に対応した問題を設定し、思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。
	別表 3			
	(3) 生徒が自主的に学習に取り組むことができる配慮	<p>既習事項として「ちよつと確認」の項目を設定している。</p> <p>問題補充で「たしかめ」「もっと練習!」を設定し、巻末問題ページを示している。節に「基本の問題」、章末に「A問題」「B問題」「活用の問題」、巻末に「補充問題」「活用の問題」を設定している。</p> <p>関連事項として「数学のまど」「やってみよう」「数学発見レポート」「巻末課題編」を設定している。</p>	<p>既習事項として「思い出そう」の項目を設定している。</p> <p>問題補充で「プラス・ワン」を設定し、ページ下欄外に問題ページを示している。節に「練習」、章末に「章の問題」と「いろいろな問題」「考えてみよう」、巻末に「まとめの問題」を設定している。活用問題として「挑戦しよう」を必要に応じて設定している。</p> <p>関連事項として「深めよう」「表現しよう」「Mathful」を設定している。</p>	<p>領域の復習「ふりかえり」の項目を設定している。</p> <p>既習事項として「ふりかえり」の項目を設定している。</p> <p>問題補充で、数と式領域に「計算力を高めよう」を設定し、「やってみよう」の項目に「計算力を高めよう」ページを示している。節に「確かめよう」、章末に「基本」「応用」「活用」を区別した「まとめの問題」、巻末に「復習」問題を設定している。</p> <p>関連事項として「クローズアップ」「深めよう」「さらなる数学へ」を設定している。</p>
別表 4				
(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	別表 5	発展マークを付け、1年時において「同類項」を扱っている。また、放物線と直線の交点などを扱っている。	発展マークを付け、 $\sqrt{2}$ が無理数であることを背理法で証明したり、確率の積の法則などを扱っている。	発展マークを付け、「1乗・0乗・-1乗」の指数やサイン・コサイン・タンジェントなどを扱っている。

発行者			
17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
各章末に「数学の広場」を設定している。「みんなで数学」で数学的活動に対応した問題を設定し、思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。	各章末に「千思万考」を設定している。「自分のことばで伝えよう」で数学的活動に対応した問題を設定し、思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。	「やってみよう」「活用しよう」「伝えよう」に分けて数学的活動に対応した問題を設定し、思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。	各章末にある「深める数学」「生活への利用」で数学的活動に対応した問題を設定し、思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。
章の学習に関する「Let's Try」の項目を設定している。		巻頭に既習内容要点「クイックチャージ」と既習内容問題「ドリルでチャージ!」を設定している。	
既習事項として「もどって確認」の項目を設定している。	既習事項として「ふりかえり」の項目を設定している。	既習事項として「ふりかえり」の項目を設定している。	既習事項として「ふりかえり」の項目を設定している。
問題補充で「たしかめ」を設定し、巻末問題ページを示している。節に「基本のたしかめ」、章末に「章の問題」、4領域ごとに「練習問題」、巻末に「たしかめの補充問題」「実力アップ問題」を設定している。	問題補充で巻末問題ページを示している。節に「練習問題」、章末に「基本のたしかめ」「章末問題」「千思万考」、巻末に「くり返し練習」「まとめの問題」を設定している。	問題補充で「反復」、節に「確かめよう」、章末に「基本の問題」「章の問題A」「章の問題B」、巻末に「基本のまとめ」「確認しよう」「深めよう」で構成した「チャレンジ編」を設定している。	問題補充で「チャレンジ」を設定し、巻末問題ページを示している。節に「基本の問題」、章末に「くり返し練習」「章のたしかめ」「とりくんでみよう」、巻末に「復習」「力をのばそう」問題を設定している。
関連事項として「チャレンジコーナー」「数学の広場」「自由研究」を設定している。	関連事項として「数学展望台」「数学広場」、別冊の「Math Naviブック」を設定している。	関連事項として「やってみよう」「数学探検」を設定している。	関連事項として「数学マイトライ」の中に「数学研究室」を設定している。
発展マークを付け、因数分解の公式の発展や「標準偏差」という散らばりの程度などを扱っている。	発展マークを付け、球の表面積・体積の公式や二次関数における変化の割合などを扱っている。	発展マークを付け、連立3元1次方程式や三角形の外接円と外心、内接円と内心などを扱っている。	発展マークを付け、三角形の重心と中線や2つの資料の相関関係の読み取りなどを扱っている。

採択基準	基本観点	発行者		
		2 東書	4 大日本	11 学図
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(5) 他の教科等との関連 別表 6	節末の「数学のまど」や巻末の「学びをいかす」「社会とつながる」「教科とつながる」などで、日常生活や他教科等と関連する内容を扱っている。 道徳との関連については、筋道を立てて考え、表現する能力を高める内容などを取り扱っている。	章末の「考えてみよう」「挑戦しよう」「社会にリンク」や巻末の「Mathful」などで、日常生活や他教科等と関連する内容を扱っている。 道徳との関連については、筋道を立てて考え、表現する能力を高める内容などを取り扱っている。	章末の「まとめの問題」「活用」「深めよう」や巻末の「さらなる数学へ」などで、日常生活や他教科等と関連する内容を扱っている。 道徳との関連については、筋道を立てて考え、表現する能力を高める内容などを取り扱っている。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫 別表 7	図や写真、キャラクターなどを用いて説明を補足している。巻末教具があり、数量や図形の意味を実感的に理解できるようにしている。	図や写真、キャラクターなどを用いて説明を補足している。巻末教具があり、数量や図形の意味を実感的に理解できるようにしている。	図や写真、キャラクターなどを用いて説明を補足している。巻末教具があり、数量や図形の意味を実感的に理解できるようにしている。

発行者			
17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
「チャレンジコーナー」や「数学ミニ事典」、巻末の「数学の広場」や巻末の「自由研究」「考える力をアップしよう」などで、日常生活や他教科等と関連する内容を扱っている。 道徳との関連については、筋道を立てて考え、表現する能力を高める内容などを取り扱っている。	「数学展望台」や「身のまわりへ広げよう」、巻末の「数学の広場」や別冊の「Math Naviブック」などで、日常生活や他教科等と関連する内容を扱っている。 道徳との関連については、筋道を立てて考え、表現する能力を高める内容などを取り扱っている。	「やってみよう」や巻末の「数学探検」などで、日常生活や他教科等と関連する内容を扱っている。 道徳との関連については、筋道を立てて考え、表現する能力を高める内容などを取り扱っている。	節末・章末の「数学のたんけん」や巻末の「生活への利用」、巻末の「数学マイトライ数学研究室」などで、日常生活や他教科等と関連する内容を扱っている。 道徳との関連については、筋道を立てて考え、表現する能力を高める内容などを取り扱っている。
図や写真、キャラクターなどを用いて説明を補足している。巻末教具があり、数量や図形の意味を実感的に理解できるようにしている。	図や写真、キャラクターなどを用いて説明を補足している。巻末教具があり、数量や図形の意味を実感的に理解できるようにしている。	図や写真、キャラクターなどを用いて説明を補足している。巻末教具があり、数量や図形の意味を実感的に理解できるようにしている。	図や写真、キャラクターなどを用いて説明を補足している。巻末教具があり、数量や図形の意味を実感的に理解できるようにしている。